

D-1 自己評価

「未来をひらく微生物」の学習を振り返ろう

		◎	○	△	×
1	本読みが上手になった	6	12	0	0
2	微生物と環境について理解することができた	9	9	0	0
3	説明文の技を理解できた(接続語・対比・定義・比喻・例示・文章構成)				
	a接続語(しかし、次に、例えば)	8	7	3	0
	b比喻の見つけ方	4	8	6	0
	c定義の仕方(微生物・生分解性プラスチック)	2	14	1	1
4	説明する作文が上手に書けた(接続語・対比・定義・比喻・例示・文章構成)				
	a小学5年生に微生物の説明をする	1	12	5	0
	bお婆ちゃんに生分解性プラスチックについて説明す	9	6	3	0

分析

- ・「1本読み」の満足度は○が最も多い。◎が少ないのは、文学より全体での時間をかけられなかったためだろう
- ・「2理解」では、どの生徒も満足度が高い
- ・「3説明の技」は、目標の9割には届かなかった。特に「比喻」方と、「定義」は、繰り返し指導の必要がある。
- ・「4作文」は「小5への作文」よりも2回目の「お婆ちゃんへの作文」が上達したという評価が多かった。
- ・「4作文」について自己評価が厳しい。もっと自己評価能力を高める必要がある。